

全自動血液凝固測定装置

仕様書

令和 8 年 2 月

奈良県総合医療センター

(調達物品の構成内容)

機器名：全自動血液凝固測定装置 一式

(内訳)

- | | |
|----------------|-----|
| 1 全自動血液凝固測定装置① | 1 台 |
| 2 全自動血液凝固測定装置② | 1 台 |

(調達物品に備えるべき技術的要件)

1 全自動血液凝固測定装置①

- 1-1 処理能力は、プロトロンビン時間(PT)単独オーダー時 400 テスト/時以上であること。
- 1-2 測定項目として、PT, APTT, Fbg, AT, FDP, DD, FMC が測定可能であること。
- 1-3 凝固法の検出方式は、透過光検出方式もしくは散乱光検出方式であること。
- 1-4 測定原理として化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA) で測定可能なユニットを有すること。
- 1-5 化学発光酵素免疫測定装置アップデートライセンスを有すること。
- 1-6 試薬バーコード管理機能を有すること。
- 1-7 試薬保冷機能を有し、24 時間スタンバイが可能であること。
- 1-8 操作オペレーションに関わる表示言語は日本語対応であること。
- 1-9 検体情報管理システムからの依頼情報に基づくランダム測定が可能であること。
- 1-10 分析結果とフラグ、検体情報をリアルタイムに検体情報管理システムへ送信する機能を有すること。
- 1-11 検体の乳び等のチェック機能を有していること。
- 1-12 血小板凝集能測定が可能であること。
- 1-13 1 台あたり同時測定可能項目数が 30 項目以上あること。
- 1-14 30 検体以上検体が架設できること。
- 1-15 リアルタイムのオンライン精度管理ができる機能を有すること。
- 1-16 試薬保冷機能を有し、温度は 12℃以下に保冷されること。
- 1-17 サンプルング方式は、採血管を開栓しないキャップピラス方式で測定可能であること。
- 1-18 当院の純水製造装置との接続が可能であること。

2 全自動血液凝固測定装置②

- 2-1 処理能力は、プロトロンビン時間(PT)単独オーダー時 400 テスト/時以上であること。
- 2-2 測定項目として、PT, APTT, Fbg, AT, FDP, DD, FMC が測定可能であること。
- 2-3 凝固法の検出方式は、透過光検出方式もしくは散乱光検出方式であること。
- 2-4 試薬バーコード管理機能を有すること。
- 2-5 試薬保冷機能を有し、24 時間スタンバイが可能であること。
- 2-6 操作オペレーションに関わる表示言語は日本語対応であること。

- 2-7 検体情報管理システムからの依頼情報に基づくランダム測定が可能であること。
- 2-8 分析結果とフラグ、検体情報をリアルタイムに検体情報管理システムへ送信する機能を有すること。
- 2-9 検体の乳び等のチェック機能を有していること。
- 2-10 血小板凝集能測定が可能であること。
- 2-11 1台あたり同時測定可能項目数が30項目以上あること。
- 2-12 30検体以上検体が架設できること。
- 2-13 リアルタイムのオンライン精度管理ができる機能を有すること。
- 2-14 試薬保冷機能を有し、温度は12℃以下に保冷されること。
- 2-15 サンプルング方式は、採血管を開栓しないキャップピアス方式で測定可能であること。
- 2-16 当院の純水製造装置との接続が可能であること。

以上